

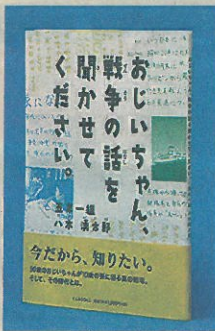


著者が小学五年生のとき、夏の自由研究としてまとめたレポートが本になりました。大好きな九十歳のおじいちゃん

おじいちゃん、戦争の話を聞かせてください。  
五年一組 八木湧太郎

### 戦争はダメ感じたむごさ

やん。語ったのは、フィリピンでの過酷な戦争体験でした。わづかな食料を渡されて最前線に出され、部隊は玉砕。八ころがある。戦争のむごさ百人の仲間が六人に。生きるためにネズミ、ナメクジ、ミおじいちゃんに「生きていて



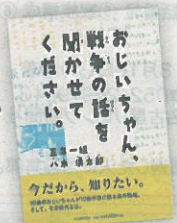
ありがとう」と礼状を出すこと。「戦争はぜったい、しないこと。戦争はしないで、上

手に解決することが一番いい」と返事がきたそうです。もうすぐ七十回目の終戦記念日。戦争体験者も少なくなりました。みなさんも、身近な人に戦争の話を聞いてみま

新刊

「おじいちゃん、戦争の話を聞かせてください。」

五年一組  
八木湧太郎  
(ぐんBOOKS)  
1080円



夏休みの自由研究として孫が祖父から聞いた、フィリピンでの戦争体験。ピースあいちで読み継がれた自由研究がロコミで話題となり、戦後70年の今、ついに書籍化。子どもと一緒に戦争と平和を考えるきっかけに。

名古屋リビング新聞  
2015.8.1

★本棚からピックアップ

- 「ぞうれっしゃがやってきた」
- 「なぜ戦争はよくないか」
- 「地雷ではなく花をください」
- 「紙の砦」
- 「はだしのゲン」

### 戦争と平和の資料館 ピースあいち

名古屋よもぎ台2-820、  
11:00～16:00、日・月曜休館  
※8月30日までは日曜も開館

寄贈された戦争遺品と、ボランティアの手による手作りの企画を通して、愛知県内の空襲、戦争の歴史の教訓を伝え、平和を問う場。1階には、市民から寄贈された絵本や書籍が並ぶ。夏休み期間中は、子ども向け企画展「戦争と動物たち」を開催。ソウを守った東山動物園の経緯が分かりやすく展示されている。

